

**製品名: HORMAD1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12163**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HORMAD1
別名	HORMAD1; NOHMA; HORMA domain-containing protein 1; Cancer/testis antigen 46; CT46; Newborn ovary HORMA protein
遺伝子 ID	84072.0
SwissProt ID	Q86X24
免疫原	抗血清はヒト HORMAD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

**背景**

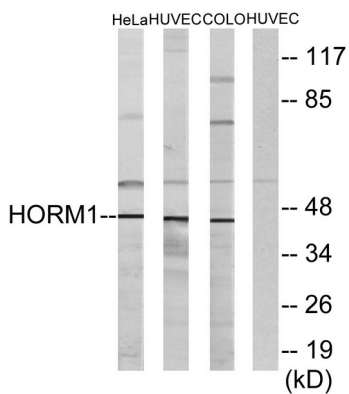
この遺伝子は HORMA ドメイン含有タンパク質をコードします。HORMA ドメインはクロマチン結合に関与し、細胞周期制御に役割

を果たします。コードされているタンパク質は減数分裂に関与している可能性があり、この遺伝子の発現は癌の潜在的なマーカーとなります。この遺伝子の偽遺伝子は6番染色体長腕に位置しています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2010年12月]類似性: 1つのHORMAドメインを含みます。、組織特異性: 精巣特異的。癌腫で過剰発現します。、

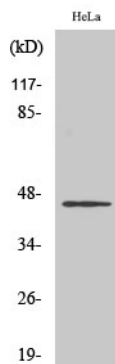
## 研究分野

-

## 画像データ



HORMAD1 抗体を用いた HeLa 細胞、HUVEC 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HORMAD1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。